

ステアリングスイッチ移設ステー マツダ A2S タイプ

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして誠に有難うございます。

ご使用の前に本書を必ずお読み下さい。

本説明書の内容

A.使用目的・概要

製品の使用目的、概要等が記してあります。取付け車輛の使用者は必ずお読み下さい。

B.内容物

製品及び付属品、内容物全てを記してあります。取付け作業前に必ずお読み下さい。

C.取付けについて

製品の取付けに関して記しています。取付け作業をされる方は必ずお読み下さい。

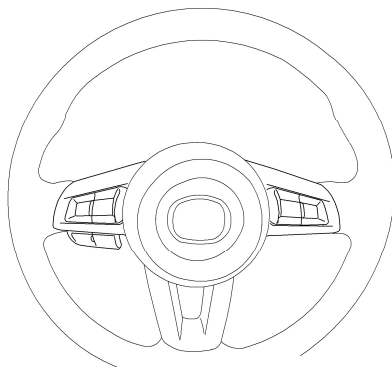
D.注意事項

製品及び取扱説明書の内容についての注意を記してあります。取付け車輛の使用者、取付けされる方は必ずお読み下さい。

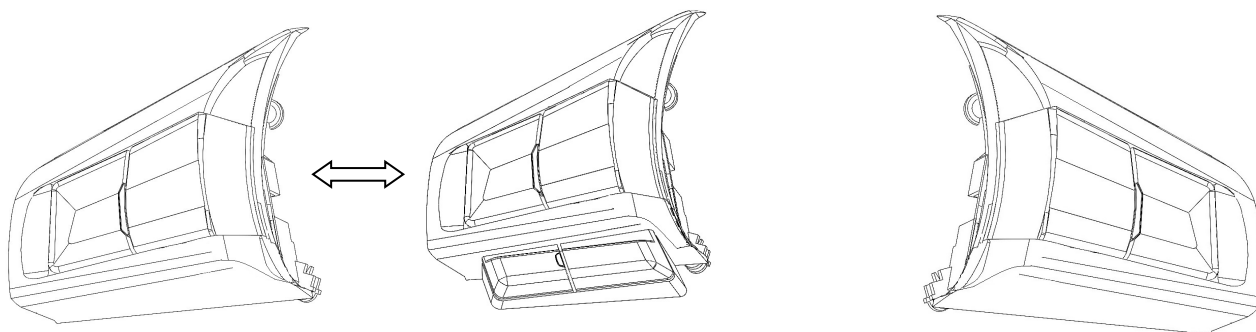
A.使用目的・概要

- ・ マツダ車の純正ステアリングスイッチをスポーツタイプステアリングホイール及びステアリングボスに移設し、ボールロックシステム・ラフィックスシリーズと併用する為の製品です。この目的以外で使用しないで下さい。
- ・ 本製品はワークスベル製ステアリングボス 913S、ラフィックスシリーズと併せて使用します。単品ではステアリングホイールを車輛に取付けることは検証しておりません。
- ・ 対応ステアリングスイッチ形状以外の車輛には装着できません。
- ・ 他社製ステアリングボスには使用できません。
- ・ 本製品はワークスベル製ボールロックシステム・ラフィックス（Ⅰ、Ⅱ）、ラフィックス GTC に対応しています。ワークスベル製ラフィックスレーシングの溶接タイプは直接取付けできません。ラフィックスレーシングのボルトタイプは 3-6 穴アダプターを併用しないと取付けできません。
- ・ 他社製クイックリリース、弊社製品の模造品に関しては取付けできません。
- ・ 標準的な直径 350mm 以上のスポーツタイプ 3 本スポークステアリングホイールの使用を想定して設計されています。それより小さい直径のスポーツタイプステアリングホイールや 3 本スポーク以外のステアリングでは使用状況を検証しておりません。
- ・ 純正のステアリングスイッチの取外し方は記載しておりません。車輛メーカーもしくはディーラーにお尋ね下さい。
- ・ 本製品を装着すると、操舵した際、最大約 7 cm 純正コラムカバーより下に突出します。
- ・ ステアリングボスの取付けはボス付属説明書をご参照下さい。

対応ステアリングスイッチ

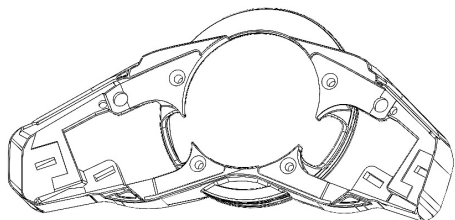


左右にスイッチがある車両のみ対応です。(左側のみスイッチがある車両は取付け出来ません)

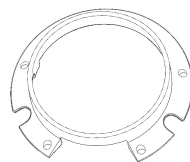


対応形状スイッチ詳細
(左側はどちらの形状にも対応します)

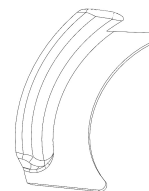
B.内容物



スイッチマウント本体



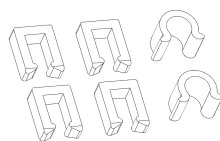
マウントインナー



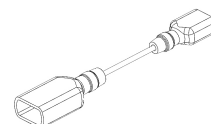
フェイスパネル(L)



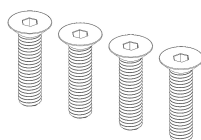
フェイスパネル(R)



固定クリップ角型×4 丸型×2※1



ホーン延長コード



サラキャップボルト×4



フランジナット×4

※1: 図の必要数の他、各 1 個ずつの予備を同梱しています。

C.取付けについて

注:ステアリングを直進状態で停車し、バッテリー端子を外してから行って下さい。

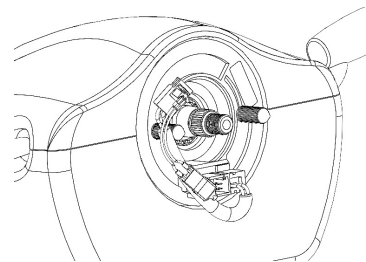
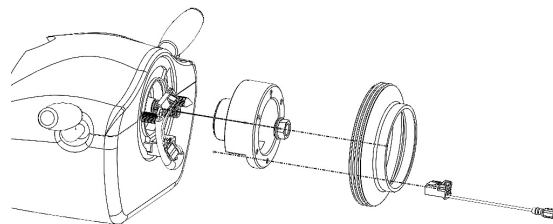
1、ボス 913S の装着状態から、

ステアリングホイール、ラフィックスシリーズを外した後、右図のように

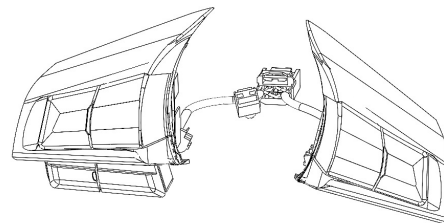
- ・ ショートボス本体
- ・ ホーンコネクタ
- ・ ボスカバー

を取外し、右図の状態にします。

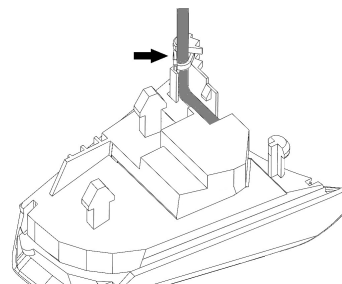
純正ステアリングから作業される場合は、純正ステアリングを取外し、エアバッグキャンセル(U ターンハーネス)を装着して絶縁テープ等で固定して下さい。



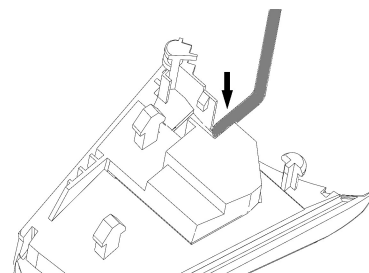
2、純正ステアリングから、ステアリングスイッチを取外して下さい。



左右スイッチ裏面の配線を固定している結束バンドをニッパー等で切断して下さい。

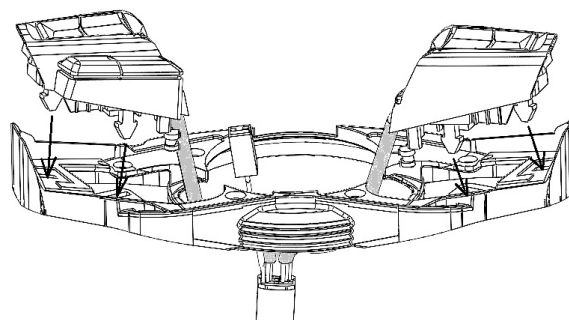


結束バンド切断後、配線を右図のように引き直して下さい。



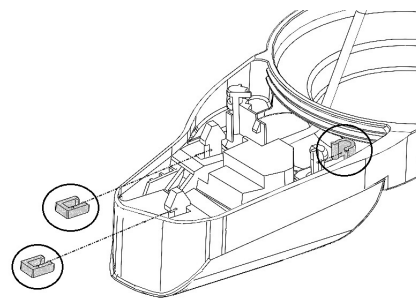
3、スイッチマウントに純正スイッチを挿入します。先に配線を楕円のコード穴に通し、スイッチ裏面の3本の足がマウントの穴から出るようにします。

注:強い力を掛けて無理に挿入しようとすると、マウント、純正スイッチを破損します。ご注意下さい。

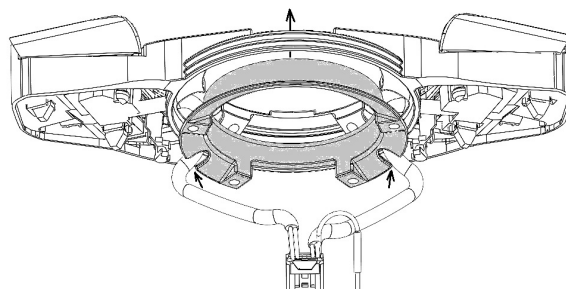


4、付属固定クリップを図のように差し込んで下さい。

スイッチがマウントに対して正しい位置まで差し込んであればクリップが挿入できます。

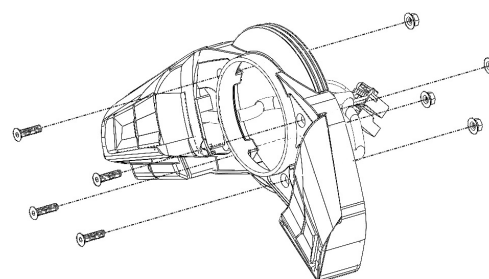


5、図のようにハーネスの両側を広げ、マウントインナーの両脇にある切り欠きに配線を沿わせ、スイッチマウント本体に挿入して下さい。

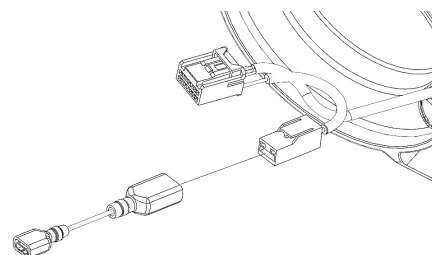


6、サラキャップボルト、フランジナットで図のようにスイッチマウントとマウントインナーをボルト留めして下さい。

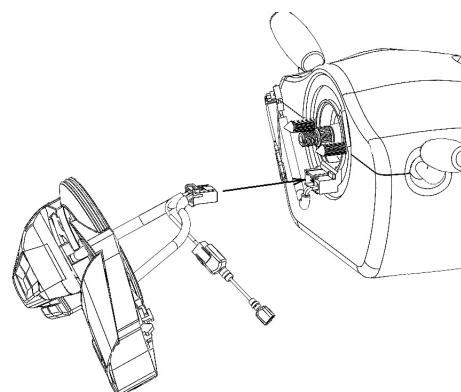
注: 締めすぎにご注意下さい。



7、ホーン延長ハーネスを純正のホーンコネクタに接続して下さい。

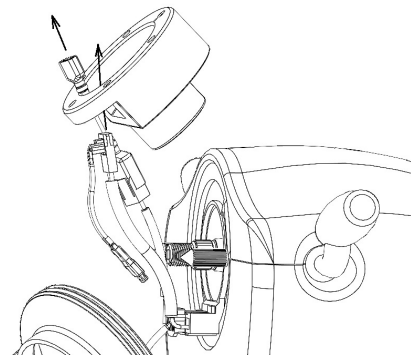


8、ハーネス先端のコネクタをスパイラルケーブルに接続して下さい。



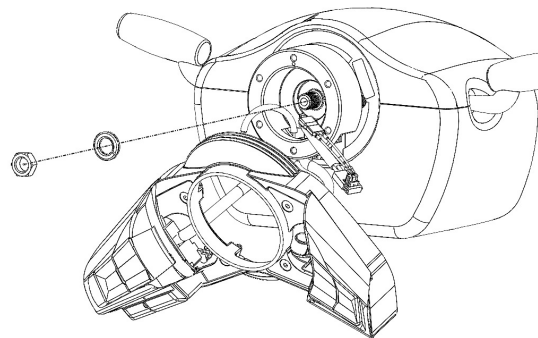
9、ボス 913S の下部窓からホーン延長ハーネスとエアバッグハーネスをボスの内部に引き入れて下さい。

注:図では省略していますが、エアバッグキャンセラー(U ターンハーネス)の端子部分はエアバッグコネクタに絶縁テープ等で確実に固定して下さい。



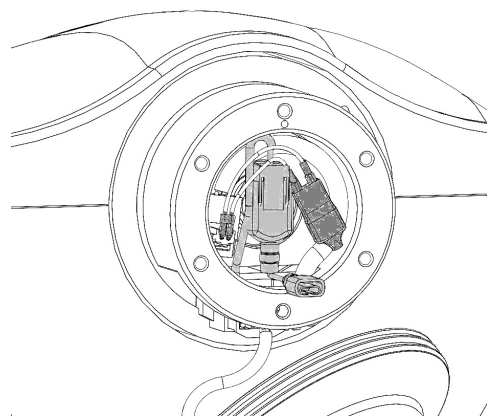
10、ボス 913S をステアリングシャフトに差し込み、ボス付属センターナットを付属スプリングワッシャを介して規定トルクで締付けて下さい。

注:締めすぎにご注意ください。規定トルクは 30Nm です。



11、センターナットを締めたら、エアバッグコネクタ及び配線、エアバッグキャンセラー、ホーンコネクタ及び配線をボスの中に巻くようにして収納して下さい。

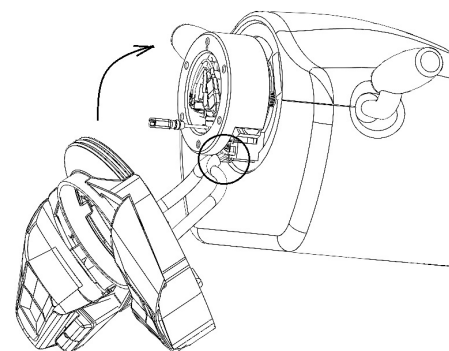
注:ボス表面より出っ張っているとラフィックスシリーズを取付ける際に干渉してしまいます。



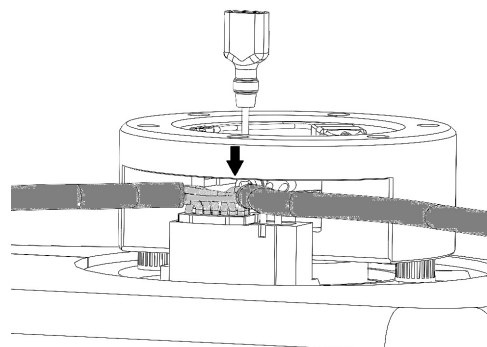
12、スイッチマウントをボスに軽く被せます。ボスの周りに沿わせるように配線を調整して下さい。手順 3 で通した楕円のコード穴から配線を調整して下さい。ボス 6 時方向の背面部分とスパイラルケーブル下部に差し込むコネクタ部分の配線が干渉しないか慎重にチェックして下さい。

注:手順 13 の調整まで深く差し込まないで下さい。

注:配線の挟み込みに注意！

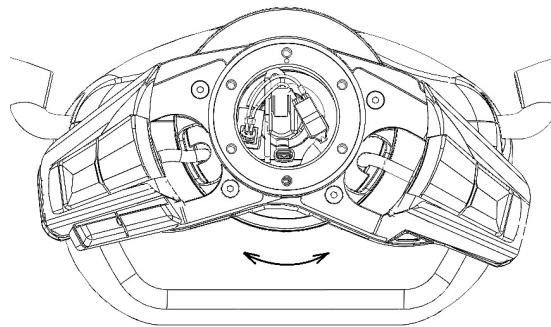


上図の丸で囲んだ部分は右図のように配線を調整してボスの裏側(矢印部分)に当たらないようにして下さい。配線が捻じれていたり交差していると、ボスに干渉してしまいます。



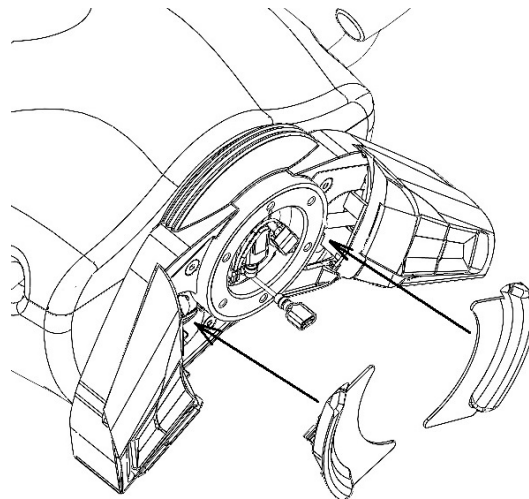
13、左右の傾きを調整して下さい。ラフィックスシリーズとステアリングを仮に置いて位置を決めて下さい。

ラフィックスシリーズ付属のアースリングを介してマウントとボスが押さえつけられて固定されますので、アースリングを使用しなければラフィックスシリーズのプラグをボルトで仮止めしてもボスとマウントは固定されません。



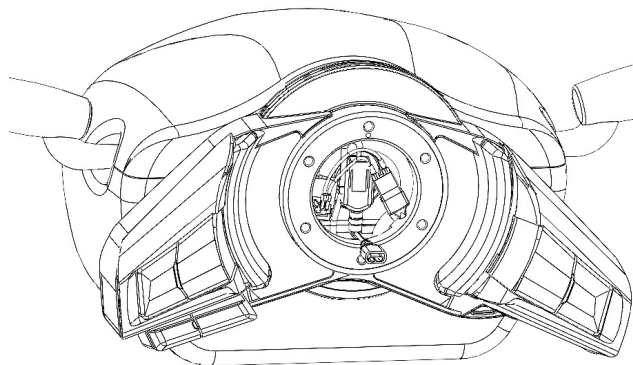
14、フェイスパネルを取付けて下さい。背面の爪により差し込むだけで固定されます。

注：配線の挟み込みに注意！



15、ラフィックスシリーズを取付けて下さい。ラフィックス、ステアリングとホーンボタンを全て装着してホーンの鳴動の確認、エンジンを始動してステアリングスイッチの動作確認、ステアリング操作に支障が無いか確認して作業終了です。

ラフィックスシリーズのプラグをボルトで固定すると、ラフィックスシリーズ付属のアースリングを介してスイッチマウントがボスに押し付けられて固定されます。アースリングを使用しない、使用しても容易に回転してしまう場合、ボスとマウントの間に薄い両面テープを貼付して固定して下さい。



注：手順 12 のときにスパイラルケーブルに差し込むコネクタ部分

の配線とショートボスのクリアランスが確保できていないと、ステアリング操作が重くなり、そのまま使用しているとスパイラルケーブルを破損します。

注：一度ボスにスイッチマウントが圧入されますと抜いたり、回転させるのは非常にきつい場合があります。マウント全体を持つようにしないと割れますのでご注意下さい。

D.注意事項

- この製品は複数の車両で実際の取付けテストを行っておりますが、車両の個体差により、スイッチマウントとコラムカバーが干渉してしまう場合が想定できます。この場合、お客様による調整等は出来ません。何ミリ程干渉するのか測定して頂き、弊社までご連絡下さい。
- 取付け完了後、ステアリング操作をして異常が無いか確認して下さい。正しい配線の取回し等がなされず、車両側のスパイラルケーブルを配線類で押していると、ステアリング操作が重くなることがあります。また、その状態で運転を続けると車両部品が破損する恐れがあります。ご注意下さい。
- 車両の運行前には必ずスイッチマウント、スイッチが固定されていることを確認して下さい。運転中にスイッチが脱落するとステアリング操作ができなくなり大変危険です。
- 本製品を改造してご使用にならないで下さい。
- 取り外した純正ステアリングや部品は大切に保存しておいて下さい。なんらかの事由により、純正状態に戻す際に必要になります。弊社ではその責任を負えません。
- 弊社製品は慎重に検査し不具合がないことを確認してから出荷しておりますが、万が一品質に問題がある場合は弊社までお問い合わせ下さい。このとき製品を一度弊社までお送り頂く場合が有り得ます。上記純正部品が必要になりますし、ご自分で作業されない方は工賃が発生することが想定できますが、弊社ではこの純正部品、工賃等は一切保証致しかねますので何卒ご了承下さい。

製造元:株式会社ワークスベル

〒391-0011 長野県茅野市玉川 8507

問合せ先: ワークスベル・カスタマーセンター

TEL:0266-70-1477

E mail: support@worksbell.co.jp